

劇場のことを考える シアターZOO ラボ

札幌文化芸術劇場
hitaru

オープニングシリーズ主催事業

@クリエイティブスタジオ

トークセミナー

vol.2

くしだ かずよし
串田 和美さん

串田和美さんを、札幌に生まれたばかりの創造型劇場 hitaru のクリエイティブスタジオにお招きして「演劇空間はどこにあるの?」といったテーマで劇場にまつわるお話を伺います。(聞き手: 斎藤 歩)

演劇を行う場所は劇場だけではありません。劇場と呼ばれている場所や、劇場とは呼ばれていない場所においても、世界各地で様々な演劇的挑戦や挑発を続けている現役の俳優・演出家の串田さんですが、私にとっての串田さんは、演劇を劇場という枠から、何としてもはみ出させようとするばかり企み続けている「悪童」という印象で、とにかく朝から晩までそのことばかり考え続け、本当に実践し続けている偉人です。実際私も「コーカサスの白墨の輪」という大作で一緒させていただき、エライ目に逢いました。北海道内各地で緒形拳さんと「ゴドーを待ちながら」を巡演し、網走刑務所では受刑者を観客席に招いて公演したことも北海道の皆さんにはご記憶に新しいことと思います。

そんな串田さんを、12月に私が「ゴドー」を公演する予定の札幌に新しく生まれたばかりの劇場空間にお招きし、串田さんが今、演劇にとっての空間や場所について何をお考えなのか、是非聞いてみたいと思い、企画しました。

減多にない機会です。「ゴドー」をご覧になる前に是非!

北海道演劇財団 芸術監督 斎藤 歩

2018年

10月10日(水) 19:00~

会場: 札幌文化芸術劇場 hitaru

クリエイティブスタジオ

(札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ3階)

札幌市営地下鉄:東西線・南北線・東豊線「大通」駅31番出口より徒歩2分
※さっぽろ地下街オーロラタウンから西2丁目地下歩道直結予定

参加料金: ¥1,000(要予約・先着順)

★札幌座くらぶ会員の方は¥500(谷町会員は無料)

※道新プレイガイドでのチケットの取り扱いはございません

参加ご希望の方は、お電話かメールでお申し込みください

TEL 011-551-0909 (シアターZOO)

Mail zoo@h-paf.ne.jp



串田 和美 (くしだ かずよし)

1942年生まれ。俳優、演出家、舞台美術家。


まつもと市民芸術館芸術監督。

芸術館を拠点に活動するTCアルプ座長。

1966年、吉田日出子らとともに劇団自由劇場を結成(後のオンシアター自由劇場)。『上海バンスキング』など数々の作品で人気を集める。85年~96年まで東京渋谷のBunkamuraシアターコクーン初代芸術監督を務め、コクーン歌舞伎、レパトリー再演システムを立ち上げる。2003年4月、まつもと市民芸術館館長兼芸術監督に就任(08年から芸術監督)。まつもと市民芸術館での主な作品に『信州・まつもと大歌舞伎』『空中キャバレー』『K.テンペスト』などがある。劇場を自由自在に使いこなす演出や地域を巻き込んだ企画など、“松本ならではの”の事業を次々と実現。

16年には「Flying Theatre 空中劇場」、17年「トランクシアター」シリーズを始動し、劇場を飛び出での上演にも精力的に取り組んでいる。

15年には代表作のひとつである『スカパン』がルーマニアのシビウ国際演劇祭に正式招聘され、同年にシビウ・ウォーク・オブ・フェイム賞を受賞。07年に第14回読売演劇大賞最優秀演出賞受賞。08年に紫綬褒章、13年に旭日小綬章を受章。

助成:  文化庁(平成30年度 劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 文化庁

主催: 公益財団法人北海道演劇財団・札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)・NPO 法人札幌座くらぶ